

数理データサイエンス教育プログラム履修ガイダンス Q&A

2021/4/6-7 に実施した履修ガイダンスの質問から作成。

この文書において、次の省略を用いる；

「数理・データサイエンス教育プログラム」 -> 「本プログラム」

「パッケージ型マイナーデータサイエンスリテラシープログラム」 -> 「DS リテラシー」、

「オナーズ型マイナーデータサイエンス」 -> 「DS」

【本プログラム全般】

Q1. 認定科目リストの開講学部はその学部しか受けられないということでしょうか？

Q1'. シラバスなどで聴講対象者が限られている科目でも履修できますか？

A1. 原則として「水準コード」10の位が0の科目は聴講対象者として「全学の学生を受け入れることが可能な科目」です。そのように記載されている科目はどの学部所属でも聴講登録自体は可能です。

参考:新潟大学 教育・学生支援機構 教育プログラム支援センター - 分野・水準表示法

<http://www.iess.niigata-u.ac.jp/epc/eso/bunyasuijun.html>

ただし、「水準コード」だけでなく「登録のための条件(注意)」などシラバスをよく確認し自身が履修可能であると判断した上で、授業担当教員に相談してから聴講登録をすることをお勧めします。

なお、本プログラムの履修を理由に聴講許可等で何らかの優遇を受けることは保証していません。

Q2. 2019 年に修得した「データサイエンス総論 I」は[データサイエンス入門科目群]に含まれますか？

A2. はい、2021 年度の「データサイエンス総論 I」と読み替えることで、[データサイエンス入門科目群]の単位として参照することが出来ます。申請の際に単位読み替えを利用する旨を記載してください。

Q3. DS リテラシーや DS の修了認定を受けた場合、それを就活に活かすことは可能ですか？

Q3'. 本プログラムを修了することで社会からどのような評価を受けると想定されますか？

A3. はい、DS リテラシーと DS は本学が正式に修了認定を行う教育プログラムです。大学名を用いて就職活動にご活用ください。また、数理・データサイエンス部門では本プログラムの社会発信に積極的に取り組んでおります。

Q4. 特に手続きをしていない状態で既に認定科目の単位を取得している場合、修了要件の不足分の科目(インターシップなど)を追加で履修して修了申請することは可能でしょうか？

A4. はい、本プログラムには履修申請手続きがありませんので、どの時期どの順序であっても既定の修了要件を満たしていれば修了申請が可能です。

【DS、インターンシップ関連】

- Q5. オナーズ型マイナーの修了要件にある「GPA が 2.5 以上」とは、プログラム認定科目以外の卒業要件科目の GPA が 2.5 以上という意味でしょうか。
- A5. はい、「卒業時まで履修したすべての授業科目の GPA」が参照されます。
参考：副専攻パンフレット(p.9) <http://www.iess.niigata-u.ac.jp/epc/eso/pdf/booklet/2021.pdf>
- Q6. 学務情報システムで DS の認定科目を何単位修得しているかを確認できますか？
- A6. はい、“履修”タブの“マイナー(副専攻)成績情報参照”から確認できます。
- Q7. データサイエンスインターンシップのシラバスに、実施は 8、9 月と記載されていましたが、具体的な日程は決ま
ってないのでしょうか。
- A7. インターンシップの具体的な日程は聴講者からのヒアリングとインターンシップ受け入れ先の都合を調整して決
定します。詳しくは授業担当教員にご相談ください。
- Q8. インターンについての説明会はどのように開催されますか？
- A8. データサイエンスインターンシップ/同(事前・事後指導)の聴講登録者と日程を調整し、聴講登録者を対象に
実施します。全学生対象の説明会はありません。詳しくは授業担当教員にご相談ください。
- Q9. [インターンシップ科目群]の履修に必要な条件はありますか？
- A9. 聴講手続きは他の科目と同様です。[インターンシップ科目群]の各科目のシラバスに記載されている「登録の
ための条件(注意)」等を参照してください。ただし、インターンシップ受け入れ先から技能・知識が条件として提
示される場合があります。